※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　学コミュニケーション科

教科	学コミュニケーション	科目	(学)他言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ入門	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	新・好きやねんハングルⅠ　（白帝社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本語以外の言語の学習を通して、その言語を使用する国や地域の生活・文化を知ることができます。また、その言語に関するテーマを設定し、ペアやグループで課題探求・発表をします。海外の文化や外国語に興味のある人、またペアやグループでの活動に意欲的な人はぜひ選んでみてください。

2　学習の到達目標

①日本語以外の言語を学習し、言語を通じて他国の文化の知識を身に付ける。
②ペア・グループワークを通して物事を多面的にとらえ、課題解決に向けて思考する力を養う。
③探究活動を通して課題解決に主体的に取り組み、発表する力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・自分を理解し、自尊感情を高める。 ・日本語以外の言語の読む・書く・聞く・話す力を身につける。 ・日本語以外の言語を通して、その国の文化等を理解する。	・正解が１つでない問題に取り組み、解決する力を高める。	・コミュニケーション力やチームワーク力を高める。 ・職業や将来の生活設計をイメージし、自分の進路を決めていく力をつける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	オリエンテーション	外国語をテーマとした探究課題に取り組み、発表を行うことを前提に外国語の表現方法や文字について学習することを意識づける。 どのような探究課題に取り組みたいか、実践例を提示しながら、プリントに書き出す作業を行う。	a:自己理解を深める b:どのような課題探求に取り組みたいか考え、プリントに記入する c:ペアやグループで協力して発表をする	・授業プリント ・発言	・授業プリント ・発言	・ペアやグループでの活動の様子の観察・記録 ・発表

※令和４年度以降入学生用

	第１期	外国語の基本的な事柄（挨拶・自己紹介、文字のつくり、基本の発音）を学び、ペアワークで外国語による挨拶や自己紹介のロールプレイングを行ったあと、1人ずつ全員の前でも発表する。	a:外国語の基本的な事柄に関する知識をつける b:外国語の基本的な知識を活用し外国語の挨拶や自己紹介を考える c: ペアやグループで協力して発表をする	・授業プリント ・発言	・授業プリント ・発言	・ペアやグループでの活動の様子の観察・記録 ・発表
	第２期	外国語の基本的な事柄（日常会話、基本の発音）を学び、ペアワークで外国語による日常会話のロールプレイングを行ったあと、1人ずつ全員の前でも発表する。	a: 外国語の基本的な事柄に関する知識をつける b:外国語の基本的な知識を活用し外国語の日常会話を考える c: ペアやグループで協力して発表をする	・授業プリント ・発言	・授業プリント ・発言	・ペアやグループでの活動の様子の観察・記録 ・発表
	第３期	外国語の基本的な事柄（応用会話、特殊な発音）を学び、ペアワークで外国語による応用会話のロールプレイングを行ったあと、1人ずつ全員の前でも発表する。	a: 外国語の基本的な事柄に関する知識をつける b:外国語の基本的な知識を活用し外国語の応用会話を考える c: ペアやグループで協力して発表をする	・授業プリント ・発言	・授業プリント ・発言	・ペアやグループでの活動の様子の観察・記録 ・発表
	探究課題の設定	第1回で行ったアイデア出しの授業プリントを使用して、吹き替えやロールプレイング等の探究課題を設定する（ペアまたはグループによる発表）。	b: 外国語の基本的な知識を活用した吹き替えやロールプレイングの探求課題を考える c: ペアやグループで協力して設定したテーマを発表する		・授業プリント ・発言	・ペアやグループでの活動の様子の観察・記録 ・発表
	探究課題	各ペアやグループで設定した探究課題に取り組む。 正解が1つではないことを意識しながら、なぜその表現を使用するのか等、ペア・グループで意見交換しながら探究する。	b: 外国語の基本的な知識を活用した吹き替えやロールプレイングの探求課題を考える c: ペアやグループで協力して発表の準備する		・授業プリント ・発言	・ペアやグループでの活動の様子の観察・記録
	成果発表会	探究課題を全員の前で発表し、評価シートを用いて相互評価を行う。 課題発表後、工夫した点や苦労した点も発表する。	b: 探求課題の工夫した点や苦労した点を考える c: ペアやグループで協力して発表をする		・授業プリント ・発言	・ペアやグループでの活動の様子の観察・記録 ・発表
	振り返り	課題を設定し探究したことや授業を通して学んだことをどのような場面で進路に活かせるか考え、プリントに記入する。その後全員の前で発表する。	b: 課題を設定し探究したことや授業を通して学んだことをどのような場面で進路に活かせるか考える c: ペアやグループで協力して発表をする		・授業プリント ・発言	・ペアやグループでの活動の様子の観察・記録 ・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度